

基本情報

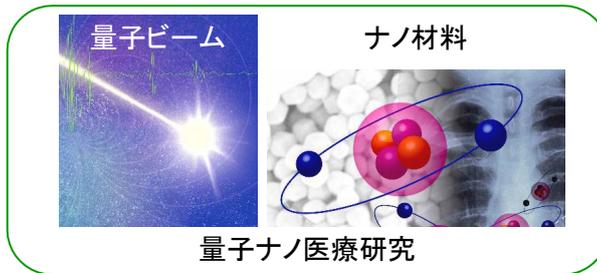
- ◆ 認定年度: 2019(令和元)年
- ◆ 設置時期: 2019(令和元)年10月
- ◆ 実施部局: 高等研究院物質一細胞統合システム拠点 (iCeMS)
- ◆ 相手方機関: カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (アメリカ)
- ◆ 設置タイプ: インバウンド型
- ◆ 設置場所: 京都大学 (日本・京都)
- ◆ 活動内容: 量子ナノ医療研究を推進し、がん治療への実用化を目指す。新学問領域の展開や、UCLA及び現地産業界との連携強化を図る。

活動による大学全体への波及効果

- 新規学術分野の確立
 - 素粒子物理学と放射線医療への波及
 - 複合原子力科学研究所、SPring-8との連携
 - カリフォルニアの研究拠点との連携
 - カリフォルニア、日本の産業への波及
- 量子ナノ医療研究の進展により新規放射線治療の開発など、京大内の研究に影響を与えている。また、当センターは大学内の学問領域の垣根を超えた異分野融合を促進している。
- センターの活動を通して学内の研究者と米国のトップレベル研究者との交流が可能となる場を提供している。

活動概要

京都大学、高等研究院 物質一細胞統合システム 拠点



Dept. of MIMG/UCLA



連携: 複合原子力科学研究所、SPring-8

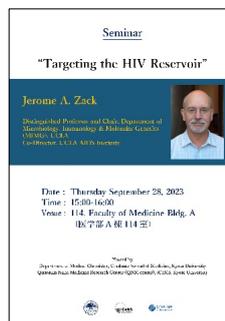


UCI collaboration
Dept. of Physics and Astronomy

2023年度の主な活動実績

① UCLA—京都大学の学術交流、Newsletter “KAWARABAN” 発行

- Dr. Yvonne Y. ChenをUCLAより招き、ハイブリッド形式で開催したOnline seminar seriesで講演。
 - 開催日: Online seminar series #6 7月4日
 - 演者: 京都大学、UCLAから各1名
- UCLAのDr. Jerome Zackが、iCeMSリトリートに参加・講演するとともに、医学部との合同セミナーでも講演した。
- QNMセンターの活動・情報を発信するために、ニュースレター“KAWARABAN” Vol.6 を2023年12月に発行した。



② コンソーシアム設立に向けた活動

- セミナー「がん治療のイノベーションに向けて」を3月27日に開催した。
- オンサイトラボの活動成果であるがん治療のイノベーション創出を加速化することを目的としたコンソーシアム設立に向けて、コンソーシアムの方針案を作成した。

